



TEL491-3607 FAX491-3697

鷹峯小学校 HPQR コード→



京都はぐくみ憲章

京都市立鷹峯小学校

校長 今井 大介

日頃は、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。今までも、保護者の皆様にご協力をいただいている「アンケート」調査を学校評価の大切な指標として、保護者の皆様のご意見を本校教育に生かす取組を進めてまいりました。

今年度も、8月に「上半期アンケート」として、ご協力いただきました。結果をもとに、本校の教育活動の中で、継続発展すべきところ、改善すべきところや課題を明らかにし、今後の教育活動に生かしていきたいと思ひます。

また、本アンケートの結果は、10月末の学校運営協議会理事会でも共有しています。お知りおきください。

学校評価アンケートの概要

児童、保護者、教職員を対象にアンケートを行いました。質問項目は、『確かな学力』『豊かな心』『健やかな体』の3つの内容を問うものです。

この3つは、本校学校教育目標の『目指す子ども像』の柱でもあります。

(1)『確かな学力』

「人の話を聞くこと」、「思考と表現に関わること」、「家庭学習に関わること」などを聞いています。

(2)『豊かな心』

「ものを大切にすること」、「きまりや約束を守ること」、「自分から挨拶すること」などを聞いています。

(3)『健やかな体』

「生活習慣に関すること」、「好き嫌いをなく食べること」、「安全に関すること」などを聞いています。

1. 結果

【保護者】

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
お子達は、人の話を最後まで聞いていますか。	8%	65%	27%	0%
お子達は、自分の思いや考えを、言葉や文章で表現できていますか。	8%	51%	40%	1%
お子達は、時間を決めて、ていねいに学習に取り組んでいますか。	4%	52%	41%	3%
お子達は、身の回りの物を、大切にできていますか。	13%	55%	32%	0%
お子達は、きまりや約束、社会のルールを守っていますか。	19%	74%	7%	0%
お子達は、周りの人や友だちを大切に、思いやりの心をもって、接していますか。	33%	60%	7%	0%
お子達は、自分から進んで、気持ちよくあいさつができていますか。	20%	60%	20%	0%
お子達は、健康に気を付けて、生活や体力づくりができていますか。	26%	60%	14%	0%
お子達は、お家での食事の際、好き嫌いをなく、何でも食べていますか。	27%	53%	19%	1%
お子達は、安全(交通・防犯)に気を付けていますか。	26%	70%	4%	0%

【児童】

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
人の話を最後まで聞いていますか。	43%	48%	8%	1%
自分の思いや考えを、言葉や文章で表現できていますか。	34%	44%	19%	3%
時間を決めて、ていねいに家庭学習に取り組んでいますか。	43%	35%	18%	4%
身の回りの物を、大切にできていますか。	57%	39%	4%	0%
きまりや約束、社会のルールを守れていますか。	49%	43%	8%	0%
周りの人や友だちを大切に、思いやりの心をもって、接していますか。	57%	36%	6%	1%
自分から進んで、気持ちよくあいさつができていますか。	60%	29%	10%	1%
健康に気を付けて、生活や体力づくりができていますか。	60%	27%	11%	2%
お家での食事や給食は、好き嫌がなく、何でも食べていますか。	53%	33%	10%	4%
安全(交通・防犯)に気を付けていますか。	72%	24%	3%	1%

【教職員】

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
児童は、人の話を最後まで聞いていますか。	8%	69%	23%	0%
児童は、自分の思いや考えを、言葉や文章で表現できていますか。	0%	69%	31%	0%
児童は、時間を決めて、ていねいに学習に取り組んでいますか。	15%	62%	23%	0%
児童は、身の回りの物を、大切にできていますか。	0%	85%	15%	0%
児童は、きまりや約束、社会のルールを守れていますか。	15%	70%	15%	0%
児童は、周りの人や友だちを大切に、思いやりの心をもって、接していますか。	23%	69%	8%	0%
児童は、自分から進んで、気持ちよくあいさつができていますか。	15%	62%	23%	0%
児童は、健康に気を付けて、生活や体力づくりができていますか。	23%	77%	0%	0%
児童は、給食を好き嫌がなく、何でも食べていますか。	23%	77%	0%	0%
児童は、安全(交通・防犯)に気を付けていますか。	15%	85%	0%	0%

2. 分析

(1)『確かな学力』

保護者アンケートの中で、「お子達は、自分の思いや考えを、言葉や文章で表現できていますか」の質問では、「よく出来ている8%」、「大体出来ている51%」という回答でした。「あまり出来ていない」「出来ていない」は41%という回答結果でした。

文部科学省の国語教育についての基本的な認識においては、小学校段階で、「聞く」「話す」「読む」「書く」のうち、「読む」「書く」が確実に身に付くようにしていくことが大切であると示されています。これは、いわゆる「読み・書き」の徹底を図ることが重要であること、情緒力を身に付けるには「読む」ことが基本になること、論理的思考力の育成は「書く」ことが中心になると考えられることによるものです。

さらに、「書く」ことは、考えを整理し、考えることそのものの鍛錬にもなり、まとまった話をするためにも書くことは大切です。鷹峯小学校の子どもたちの中には、「書く」ことを嫌う子もいます。何をどのように書いたらよいかわからないという知識・思考面での課題、また、忍耐強く一つのことに取り組もうとする力が不足している面も見られます。

何をどのように書いたらよいか、発達段階に応じた指導を継続し、「書く」ことが苦手・嫌いになる子どもを増やさないような指導改善、指導の工夫をしていきます。

保護者アンケートの中で、「時間を決めて、ていねいに学習に取り組んでいますか」の質問では、「よく出来ている4%」、「大体出来ている52%」という回答でした。「あまり出来ていない」「出来ていない」は44%という回答結果でした。

宿題など、家庭での学習をきちんとやり終える習慣が身についてきた子もありますが、中には、自分で机に向かうことができない子、またとりあえず提出さえすればいいという子もいます。懇談会等で保護者の方のお話を聞いていると、「高学年になると反抗期もあり、家庭学習時に口出しすると言いつきを言い、すぐに怒るので、本人に任せていますが、出来ていないことがあると思います。」「宿題を見て教えていると、学習を理解しているのか心配になる時があります。」等のご意見もあります。

鷹峯小学校は全校で、『自主学習』に取り組んでいます。「自分で課題を決めてノートに勉強をする」という宿題を苦手と感じ、「漢字ドリルや算数問題集の宿題の方が楽でいい。」「何を課題・テーマにして、勉強したらいいのかわからないから困る。」「課題を決めるのに、すごく時間がかかってしまう。」という思いをもっている子どももいます。

自主学習は、ドリルや問題集で出された問題の解き方を学ぶというだけではなく、多くのことを学べます。「何を勉強するか考える」「ノートにどのように書いたらいいか考える」ことは、さまざまな力が必要なので、難しいです。

子どもたちが、問題集などの問題を解くだけの宿題では得られない力をつけ、宿題の学習効果が高まるように、各学年、自分で自主学習の計画を立てられる力を積み上げていきたいと考えています。

(2)『豊かな心』

「ものを大切にすること」「きまりや約束を守ること」「自分から挨拶をすること」など、豊かな心の回答においては、保護者・教職員と、児童に認識の差が見られました。

社会全体においても、以前に比べて、あいさつがきちんとできる子どもが少ないと話題になることがあります。また、こちらからあいさつをしても返事が返ってこないこともあります。大人が手本としてあいさつをしつつ、大切さを教えていく事が大切です。

家庭、地域社会、学校、それぞれにおいて、社会のルールやモラル、マナーを守り、子どもの模範となるように努めなければなりません。少し前まで、コロナ感染症予防の視点から、なかなか声を出してあいさつをしづらい環境がありましたが、学校においても、元気なあいさつ、感謝の言葉を大切にしていきます。

今後も、家庭、地域社会、学校における教育と一緒に考えながら、教育活動を進めていきたいと考えています。

(3)『健やかな体』

「生活習慣に関すること」、「好き嫌いをなく食えること」、「安全に関すること」など、健やかな体の回答においても、保護者・教職員と、児童に認識の差が見られました。

令和6年度京都市「新体力テスト」は、令和5年度と比較して、男子・女子とも合計点で、4年生男子を除いて低下傾向、5年生女子においては、全ての種目で低下（合計点▲1.9%）が見られました。握力（筋力）、立ち幅とび（筋パワー・跳能力）は前年度に引き続き、課題となり、20mシャトルラン（全身持久力）は、3年生女子・5年生女子で比較的大きな低下がみられました。

体力は、人間の活動の源であり、健康の維持のほか、意欲や気力といった精神面の充実に大きく関わり、「生きる力」の重要な要素です。子どもの体力の低下は、将来的に国民全体の体力低下、社会全体の活力や文化を支える力が失われることにもなりかねません。もちろん、学校生活においても、体力がないと、学習時の集中力も低下し、学力定着につながりません。

鷹峯小学校では、体育科学習や学活、休み時間等を活用して、できるだけ体を動かす時間を設定し、仲間と一緒に力いっぱい運動をする工夫をしています。遊びを通して、「身体能力」「知性」「社会性」を育て、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現し、継続するための資質・能力を育成していきたいと考えています。今後も、子どもたちの心身の調和的発達を図るために、運動を通じて体力を養い、健康的な生活習慣を形成していきたいと思っています。

3. 児童の自己評価 ～記述より～

鷹峯小学校の良いところは、どんなところですか。(記述抜粋)

- ・仲が良く、みんなと遊べる。
- ・給食がおいしい。
- ・高学年が、1年生の手本になっている。
- ・困っていると、だれかが助けてくれる。
- ・自然が豊かで、歴史ある学校。近くには観光名所がある。

単級で、全校児童数が少ない鷹峯小学校だから感じる良さに気付いている子どもたちです。子どもたち、ひとりひとりの個性が輝く学校にしていきます。

鷹峯小学校をどんな学校にしていきたいですか。(記述抜粋)

- ・勉強をがんばれる学校にしたい。
- ・優しく、仲が良い学校。
- ・いじめのない、明るい学校。
- ・けじめのある学校。
- ・勉強がよくわかる学校。

学校の約束事を守り、学習規律がある学校・クラスは、意欲的に学習に向かえます。そんな素敵な学校にしていきます。

鷹峯小学校を良くするために、どんなことをがんばりますか。(記述抜粋)

- ・先生や友達の話聞く。
- ・先生に言われる前に、先にしないといけないことをする。
- ・友達に思いやりの心をもつ。
- ・掃除をがんばる。
- ・学校のルールを守って、階段はゆっくり右側通行をする。

子どもたち、ひとりひとりのがんばりが、学校をより良くする大きな力になります。子どもたちが自ら学びに向かう姿勢を育てていきます。

鷹峯小学校に、あったらいいなと思う取組は何ですか。(記述抜粋)

- ・縦割り活動でスポーツがしたい。
- ・学校をきれいにする取組。
- ・ハロウィンのイベント活動。プチ文化祭。
- ・自然を生かした活動。
- ・全学年で一緒に学習。

子どもたちのアイデアの中で、実現できそうな活動は、児童会活動を中心に、今後検討していきます。

子どもたちは、「中学校、高校で困らないように、勉強をがんばりたい。」「低学年の手本になって、責任をもって行動する。」「学校で分からなかった所や、テストで間違えた所を、自主学習でもう一度取り組む。」「授業の内容をきちんと聞き、分からない友達に教えてあげられるようにする。」「友達と協力をし、助け合える学校にして、笑顔いっぱいの鷹峯にしたい。」など、目標に向かって取り組んでいるところです。

4. さいごに

鷹峯小学校の学校教育目標『自ら感じ・考え・協働し、豊かに表現し合う子どもの育成』を実現していくために、学校の教育活動全体について絶えず見直すことを大切に、教職員の強みを生かして、改善の努力をしていきたいと思っています。

今後とも、ご支援、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。